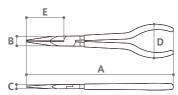
ロングリーチプライヤー



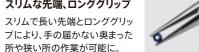


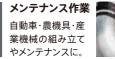


品番	呼び寸	切断能力 (mm) なし	重量(g)	JAN (4952269)
LRP-280	280mm	-	260	114881

A B C D E (全長)(頭部幅)(頭部厚)(柄幅)(先端長) 19 8 64 71

スリムな先端、ロンググリップ





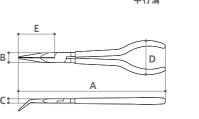




ロングリーチプライヤー(先曲り)



品番	呼び寸	切断能力 (mm)	重量(g)	JAN (4952269)
		なし	里里(g)	
LRP-280B	280mm	_	265	114898

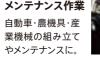


A	B	C	D	E
(全長)	(頭部幅)	(頭部厚)	(柄幅)	(先端長)
270	19	8	63	64

スリムな先曲がり形状

スリムな先曲がり形状の先端部。 狭く深い所まで届くベントタイプ。











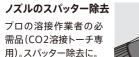
シャープノーズプライヤー

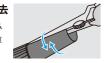


Tall in	

品番	呼び寸	切断能力 (mm)				重昌(α)	JAN	
面 番		軟銅線	軟鉄線(針金)	真鍮線	ステンレス線	より線	重量(g)	(4952269)
SNP-150	150mm	Ф2.6	Ф2.0	Ф2.0	Ф1.0	2.0mm	110	103090













10 52 52

コラム Column ラジオペンチについて

ラジオペンチとは?

ラジオペンチとはペンチの一種で、先端が細長く細かな作業に向いている工具です。昭和時期にラジオ等の電子工作用 に開発された所から名前の由来があります。日本独自の名称です。海外ではラジオペンチでは通じません。 ペンチと同じく線材を切る・曲げる・つかむ・引っぱるなどの用途で電子工作以外にも様々な場面で活躍します。 先端が細長いのでペンチに比べ、狭所作業に向いているのが特徴です。

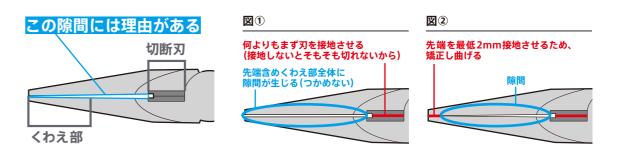
主なラジオペンチの形状

ラジオペンチには用途によって様々な種類があります。 大きく分けて一般的な JIS 規格形状・先細・先曲がり・ロング等のタイプに分かれます。



くわえ部の隙間はなぜ空くの?

「くわえ部全体が閉じてなく、隙間が空いている」「薄い板材をつかめない」等のお問い合わせを多くいただきますが、 実はこの隙間には理由があります。いくつか理由はありますが、一番の理由は刃があることです。ニッパー・ラジオペンチなどの 刃は削りながら切れ味を調整します (刃付けといいます)。刃が切れることを優先すると必ず先に刃が接地している状態にしなくて はなりません。構造上、図①のような状態になります。



図①の状態では先端で物をつかむことはできません。しかしながらJISの規格を見てみると先端部について「先端部の内側は、 2mm以上密着していなければならない。」という規定があります。これは先端で物をつかむことができるようにするための規定です。 刃が切れてかつ先端でつかめる形状にするため、刃を付けた後に先端を曲げる矯正加工をしています。 結果、図②の状態となるので、ラジオペンチは隙間があるのが正常な形なのです。